

展示関連講座

美術分野講座（年2回）

- ・9月14日（土） 10：00～11：00
《追憶の熊本》展へ向けて（仮）
- ・2020年2月15日（土） 10：00～11：00
クマハクのア・シ・ギ？その1 - 美術編 -（仮）

秋季特別展「追憶の熊本」関連講座・企画

- ・10月12日（土）13：30～15：30
講演会（講師：熊本大学名誉教授 伊藤重剛先生）
- ・10月26日（土）13：30～15：30 町並探索
（案内人：熊本大学名誉教授 伊藤重剛先生、当館学芸員）

そのほか、会期中に「NPO法人熊本まちなみトラスト」講演会なども実施を予定しています。

上記の講座・企画は毎回申し込み方法が異なりますので、詳しくは直近の市政だよりや当館HPにてご確認ください。

ミュージアムトーク

※申し込み不要
学芸員による展示解説です。実施についての詳細な日時は開催月に当館HP等にてお知らせいたします。



2019年度 通年講座・教室一覧 展示会スケジュール

各講座・教室の受講の際には博物館入場料が必要です。
通年で受講される方は年間入場券をお勧めいたします。

通年講座の申し込み方法

・往復はがきの場合

往復はがきに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて熊本博物館まで郵送（〒860-0007 中央区古京町3-2）

・ホームページの場合

博物館ホームページ（<https://kumamoto-city-museum.jp/>）の申し込みフォームに必要事項を入力
場所：トップ画面>講座・教室>お申し込み

定員（各講座40名）を超えた場合、抽選にて決定いたします。

締切日以降の申し込みについては直接博物館（096-324-3500）にお尋ねください。

※講座の内容や定員の空き状況次第では受け入れ可能な場合があります。

2019年度 開講 通年講座

考古学専門講座

考古学のバイブル『通論考古学』を読みます
月末の水曜日、もしくは木曜日を中心に実施（年間9回）
初回 5月29日（水）13：30～ 講堂
申込締切日 2019年5月13日（月）（必着）

民俗学講座

年中行事、伝説、民俗芸能などを学習します
5月～翌年2月の第2火曜日を中心に実施（年間10回）
初回 5月14日（火）10：30～ 講堂
申込締切日 2019年4月12日（金）（必着）

動物学講座

身近な生きものに関する室内講座と観察会です
毎月第3土曜日を中心に実施（年間12回）
初回 4月20日（土）10：00～ 実験・工作室
申込締切日 2019年4月12日（金）（必着）

植物学講座

身近な野草・樹木などについて学ぶ講座です
毎月第4木曜日を中心に実施（年間8回）
初回 5月23日（木）10：00～ 講堂
申込締切日 2019年5月13日（月）（必着）

地質学講座

化石や岩石、熊本の大地に関する室内講座です
偶数月の第3日曜日午後を中心に隔月実施（年間6回）
初回 4月21日（日）14：00～ 実験・工作室
申込締切日 2019年4月12日（金）（必着）

⇐通年講座の申し込み方法は紙面中央をお読みください。
2回目以降の開催日時等の詳細は講座中や電話にてお知らせいたします。
各講座参加無料ですが、受講の際には博物館入場料が必要です。
通年で受講される方は年間入場券をお勧めいたします。

子ども科学・ものづくり教室



小中学生を中心に『不思議の種まき』をします。
実験や科学工作などの直接体験を通して、その楽しさを伝えながら身の回りの様々な事象に対する興味・関心を高めていきたいと願っています。
ぜひ、ご参加ください！！

毎回テーマによって申し込み方法が異なりますので、詳しくは直近の市政だよりや当館HPにてご確認ください。

2019年度 展示会スケジュール

2019年3月時点での展示予定です。
都合によりタイトルや会期など
一部変更する場合があります。

①企画展 4月20日(土)～7月7日(日)
きらめく！大名道具 - 細川家の「華」と「武」の世界 -

公益財団法人 永青文庫所蔵資料のうち、当館が管理している調度品や武具類を展示します。今回は、熊本県立美術館との“初”連携企画展として同時開催いたします。この機会に、ぜひ両館でご鑑賞ください。

白糸威二枚胴具足 (永青文庫所蔵)



②共催展 5月12日(日)～6月2日(日)
地質の日企画『身近に知る「くまもの大地」』

熊本県内の大学や博物館、地質関連団体が合同で、熊本の大地をテーマとした岩石・化石などの展示を行います。
※5月11日(土)は、上通「びぶれす広場」にて関連イベントを実施します。



③企画展 6月8日(土)～7月7日(日)
自然のおいしい味わい方

身近にいる“実は食べてみると美味しい”生きもののレジビヤ、人の食生活と関わり深い生きもの、果ては自然にある美味しそう！？な石など、博物館的な視点で「自然と食」について考える展示会です。



④夏季特別展
大昆虫博2019
7月20日(土)～8月25日(日)

世界の美しい昆虫や珍しい昆虫、熊本県内でみられる身近な昆虫などの標本を展示し、それら昆虫たちの知られざる魅力などを紹介します。昆虫カメラマン栗林慧氏が虫の目線で撮影した大迫力の巨大昆虫写真に囲まれて、虫の世界を体験してみませんか？

(本展は博物館入場料のほかに特別展覧会観覧料が別途必要です)



⑤秋季特別展
追憶の熊本
～画家・甲斐青萍が描いた熊本城下の記憶～
10月5日(土)～11月24日(日)

熊本城大天守の外観復旧、ラグビー・女子ハンドボールの世界大会開催、熊本城ホールの完成など、2019年はさまざまなイベントが目白押しです。本展では、熊本出身の画家・甲斐青萍(1882-1974)が描いた江戸・明治・昭和の熊本城下の町並図屏風を手がかりに、加藤・細川治世から現代に至るまで、時代と共に劇的な変化を遂げてきた熊本城下にスポットをあてます。知られざる熊本城下の姿をじっくりとご観覧ください。

(本展は博物館入場料のほかに特別展覧会観覧料が別途必要です)



『昭和町並図屏風』(部分拡大・個人蔵)

⑥国立科学博物館連携事業
12月3日(火)～2020年1月26日(日)
生命のれきし
-君につながるものがたり-

地球が誕生してから46億年。地球やそこに住む生き物たちはどのような道のりを歩んできたのでしょうか。地球最古の岩石や、恐竜の全身骨格などの標本と一緒に、地球と生命のれきしをたどる46億年のものがたりへご招待します。



⑦企画展
2020年2月8日(土)～3月22日(日)
宮本常一が歩いた熊本

民俗学者・宮本常一(1907～1981)は戦後、日記で確認できる限り昭和30年代に十数回熊本に来ています。宮本が何処を訪ね、何に興味を持ったのか、写真や当時使っていたものを展示します。

2019年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別展示室1	①											
特別展示室2	きらめく！大名道具 - 細川家の「華」と「武」の世界 -			④			⑤					⑦
特別展示室3		②	③	大昆虫博 2019			追憶の熊本		⑥	生命のれきし		宮本常一が歩いた熊本